

内閣総理大臣 小泉純一郎様

要 望 書

自衛隊の即時イラク撤退を強く要望します。

日本YWCAは、キリスト教に基づく平和団体として、あらゆる暴力・強制・差別・支配などのない社会を目指すという方針のもと、自衛隊のイラク派兵に反対してきました。

今、イラクにおいては治安回復を図るためと称する米軍・イラク軍の合同の攻撃によって多くの一般市民の命がうばわれ、市民生活は壊滅的な攻撃を受けています。人々は不当な占領や市民への虐殺行為を続ける米軍に対してのみならず、それを支援するものとして日本の自衛隊にも不信感を募らせています。このような状況において、イラクの復興支援の使命を果たすことはできません。

イラク復興支援特別措置法では、いわゆる「非戦闘地域」への派遣だとして憲法との合法性を解釈していますが、派遣先のサマワは現在、非常事態宣言の範囲内にあり、自衛隊の宿営地や近辺には繰り返し迫撃砲弾やロケット弾が撃ち込まれており、自衛隊員の安全確保も危ぶまれる状況になっています。もはや誰の目から見ても「非戦闘地域」ではありません。

私たちは、日本政府が自衛隊を直ちに撤退させ、イラクの人々が主体的に国の再建や生活の復興に取り組めるよう、改めて人道的支援をすべきだと考えます。

1年間とされる自衛隊の派遣期限が12月14日と迫った今、派遣を延長することなく、即時撤退することを強く要望いたします。

2004年11月29日

日本YWCA

会 長 青木 恵子

総幹事 松下 起子